

演習問題 A3 および A4（締め切り＝次回（2週間後）演習中の回収時）

○問題番号: A3

課題名：文法の演習（2）

講義第2回スライド（前回スライド）より

p29 問題3 (e は ϵ (空文字列) であることに注意)

p30 問題7、 p31 問題8

○問題番号: A4

課題名：算術式の処理と逆ポーランド記法

（プログラム課題→第一回の講義時に配ったもの）

プログラム問題のレポート作成上の注意

プログラム作成問題（～のプログラムを作成せよ、～を実装せよ、という形の問い）に対しては、下記をレポートに含めること。

- 実行結果のスナップショット。
- ソースプログラム
- 考察（プログラムの解説や重要なポイントの説明など）
- 感想（→得点には含めませんが、もし、難しい、分からない、簡単、などあれば。）

考察では、自分がどのような考え方でそのプログラムを作成したかを示す。すなわち、自分の理解度を採点者にアピールする部分である。すなわち、考察がない場合や不十分な場合は、理解していないのと同じことであり、大幅に減点となるので注意。

レポートの様式

- 表紙（必ず添付）
 - テンプレートをダウンロードできるようにしますのでこれを使って下さい。
- レポート用紙は A4 に統一